

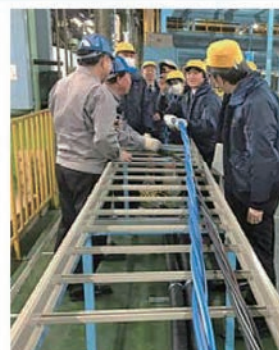
## らくらくアルミ ケーブル普及へ

古河電気工業が講習会

古河電気工業は、自社開発した高性能型低圧アルミ導体CVケーブル「らくらくアルミケーブル」の施工講習会を4月から開始する。施工には専用工具などが必要で、初めて使う作業員にも安全に施工できる技能を身に付けてもらう。電気工事の作業員のほか、施工や設計者向けにも講習を行う方針で、らくらくアルミケーブルの普及促進を図る。

講習会は座学と実技の2

ケーブル延線体験の様子



部構成。座学では、同商品の説明をはじめ、銅とアルミの違いや、専用端子の必要性や電食対策、施工時の注意点などを説明する。実技では、専用の工具を使って、らくらくアルミケーブルの端末処理を行う。講習後に実技試験と理解度テストを実施し、合格者には修了証を発行する。施工する

証明書の役割を果たす。

らくらくアルミケーブルは建物の屋内配線に用いる。従来の銅製CVケーブルに比べ軽量で柔らかく、アルミ導体を覆う絶縁体も剥ぎ取りやすいのが特徴。アルミ導体専用端子や、分電盤に取り付けるためのアルミ端子台、絶縁体とアルミ導体の酸化被膜を同時に剝離する専用工具などを用いて施工する。通電容量が同等の銅製CVケーブルと比較してサイズが大きくなるものの、約30%の軽量化を実現している。

同社は、2019年11月からアルミ導体の接続処理

の施工講習会を試験的に行っていった。2月にはグループ会社の古河電工産業電線（東京都荒川区、松本康一郎社長）の平塚工場（神奈川県平塚市）に技能訓練センターを開設していた。施工講習会の参加者からは「使う場面をイメージできる」「作業が簡単で扱いやすい」との声が上がっている。同センターでは講習会だけでなく、ケーブルの延線や分電盤への接続作業も体験できる。らくらくアルミケーブルの展示サンプルや施工実績などを紹介しており、見学施設としても利用できる。

